

# 中国が目指す循環経済社会 環境・省エネ市場の展望と商機

前号では、循環経済社会を構築するために中国政府が推進する環境・省エネの関連法規制の整備、環境処理について紹介した。今回は、中国における環境・省エネに関わる主要な分野の市場ポテンシャルについて紹介する。



## 趙萍 (ZHAO Ping)

2005年3月 九州大学工学府都市環境システム工学専攻 修了  
2005年4月 上海日技環境技術諮詢有限公司 入社  
(環境に関する技術コンサルタントの中日合弁会社)  
2008年2月 野村総研(上海)諮詢有限公司 入社 諮詢顧問  
専門領域: 中国の環境・省エネ政策・市場分析と産業戦略

### 水環境事業が最大規模

第11次5カ年計画(2006~2010年)により、環境保護への投資額は同期GDPの1・35%を占める(おおよそ1兆5000億元に相当)ことが目標に定められた。中でも、水と大気処理事業が先行的に進められ、市場規模は年々拡大している。

2010年以降になると、工業廃水処理への投資額は生活排水より大幅に増加し、2020年には生活排水への投資額の1・8倍になると予測されている。それは都市人口の増加速度が安定化していくのに対して、工業の急速な発展が持続すると予想されるからである。

一方、処理施設の整備に伴い、工業廃水、生活排水ともに施設運営費用は年ごとに伸びている。これまで多くの生活排水処理施設は地方政府が直接に投資・運営しているが、今後は特にPFI(Private Finance Initiative)事業の導入が推進される見通しである。大気処理事業規模で主だったものは発電所や工場などの固定汚染源からの煤塵処理と排ガス脱硫処理によって占められるが、今後は、環境規制の強化とともに、排ガス

の脱硝処理、及び自動車などの移動汚染源への対策が求められる。

水、大気に比べ、廃棄物処理事業の推進は遅れている。市場規模はまだそれほど大きくない。一般廃棄物は、収集率と焼却率の向上により、2010年以降の投資額の増加率は他の廃棄物に比べ大きいと思われる。

### 省エネルギー事業規模が倍増

エネルギー関連では、第11次5カ年計画により、単位GDPあたりのエネルギー消費量を20%削減する約束性目標が定められ、化石燃料に代替する新エネルギー及び省エネルギーの技術開発・応用普及は重視されつつある。

新エネにおいては、風力発電事業が最も推進されており、2007年までに風力発電規模は604万キロワット、投資総額は約340億元に達した。2010年には発電規模はさらに2500万キロワットまで増大し、第11次5カ年計画目標値の1000万キロワットを大幅に超える見込まれる。

中国省エネ協会省エネサービス産業委員会(EMCA)の報告によれば、06、07、08年に、省エネサー

表 中国における環境投資の予測(単位: 億元)

分野	対象	種類	2006-2010年	2011-2015年	2016-2020年
水	工業	投資	1848	2470	3149
		運営	950	1281	1710
	生活	投資	1644	1574	1721
		運営	924	1452	1945
大気	工業	投資	1848	2053	2715
	生活	投資	1440	2083	2450
廃棄物	産業廃棄物	投資	723	847	876
		一般廃棄物	589	800	1178
	電子廃棄物	投資	28	20	24

(出所) 国家「11・5・環境保護計画研究報告

ビス産業の生産総値はそれぞれ82・6、216・6、417・3億元、総合省エネ投資額は63・6、114・6、253・2億元となり、毎年倍増している。これまで、工業、建築領域に関する空調設備の運転管理や、照明などの設備省エネプロジェクトは多かつたが、今後は、単一な設備改造、プロセス改善よりも、トータルソリューションの提供及び人材育成、制度・標準設計などのニーズが高まってくるであろう。

## 野村総研(上海)諮詢有限公司

上海市淮海中路1045号淮海国際広場9F  
(021)5465-9980 (021)5465-9981  
北京市海淀区中关村科学院南路2号融科资讯中心A座6F  
(010)6250-9868 (010)8286-1789  
http://www.nri.com.cn